



川島 風駕ちゃん（須加）
父・政明さん 母・田香さん
平成22年4月6日生まれ
「「さっちゃん」だましく育つてね」



若野 流楓ちゃん（長野）
父・晋也さん 母・晴江さん
平成22年4月21日生まれ
「僕、泣き虫だけどよろしくね」



長谷川 侑里ちゃん（谷郷）
父・真司さん 母・佳代さん
平成22年4月28日生まれ
「明るい元気な子にー」

はじ め ま し て



門井 陽菜乃ちゃん（栄町）
父・信樹さん 母・愛子さん
平成22年4月12日生まれ
「元気に育つてねー」



田畑 彩希ちゃん（持田）
父・仁さん 母・あゆみさん
平成22年4月27日生まれ
「かわいい笑顔を沢山見せてね」

平成22年6月生まれのお子さんを募集します

○4月28日(木)までに電話またはEメールで広報広聴課広報広聴担当(内線318) ※応募要領は市ホームページをご覧ください。



○応募者多数の場合は、5月6日(金)午前11時から市役所203会議室で公開抽選を行います。

さわやか サークル

小筆クラブ

～世界に一つだけの書～



今月は、市内で唯一「小筆」を使って書道を楽しんでいる、小筆クラブを紹介します。

ペン習字クラブとして結成された同クラブは、平成7年からペンを筆に持ち替

えて活動しています。現在、同クラブには埼玉地区の女性7人が所属し、毎週水曜日の午後1時30分から3時まで、埼玉公民館で書道に励んでいます。また、毎年2月に開催される同公民館の文化祭では、メンバーの作品を展示し、日ごろの活動の成果を披露しています。

同クラブのメンバーは「字を上手に書きたい」という思いから始めた方がほとんど。中には、これまで筆を握る機会があまりなく、最初は手が震えて理想的な字が書けなかった方もいたそうです。それでも、同クラブを15年間指導している金子東園先生の丁寧で分かりやすい教えのおかげで、今ではメンバーの誰もが流れるように筆を走らせています。

同クラブの活動は、書道教室のように全員が同じ文字を書くのではなく、夏目漱石など有名な作家や詩人が残した格言集や作品集の中から、先生が心打つ言



葉を選び、メンバーそれぞれが気に入った言葉を小筆で書くとするとうとでもユニークなもの。繊細な文字を連ねて表現した作品は、芸術的な要素だけでなく、文学的な要素も含んでいることから、その作品に出会った人の心にも潤いを与えてくれます。

「日々の生活を忘れ、集中して作品を書き上げる時間がとても心地良いです」と語る同クラブの皆さん。これからもお気に入りの言葉に思いを込めながら、世界に一つだけの作品作りに筆を走らせ続けます。

▼問い合わせ 松岡宅 ☎559-4726